

■ 申請説明会での質問内容（Q&Aに既に掲載済の質問は掲載していません。）

質問内容	回答
【事前質問】 2023年春募集の在学者の申請対象者は？	以下が在学者の申請対象となります。 2023年4月時点の3年制の在学者で、在学月数25か月以下（休学期間を除く）の者 2023年4月時点の4年制の在学者で、在学月数37か月以下（休学期間を除く）の者
【事前質問】 プロジェクト生になって大変だったことは？	過去に2回、プロジェクト生に対しアンケートを実施し、その中で多かった回答は「研究費の執行（システム入力・購入手続き等）が慣れるまで大変だった。」 「二人目の指導教員を探すのに苦労した。」「書類仕事が多い。」でした。
【事前質問】 筆記試験の内容は？	内容については回答できませんが、全専攻の申請者に適した設問となるように配慮しています。
【チャットからの質問】 働きながら大学院に通っていても対象になりますか？	自身の研究、本プロジェクトの活動に支障がなく、安定的な収入（240万/年額）を超えていなければ申請することは可能です。
【チャットからの質問】 博士入学前の収入が240万/年額を超えていても、入学後に仕事を調整する予定で240万未満になります。申請可能ですか？	本プロジェクト生になった際の収入が、240万/年額を超えていなければ申請可能です。
【チャットからの質問】 収入は240万/年額未満ですが、長期履修制度を利用しています。申請可能ですか？	申請は可能ですが、標準修業年限を超えた支援は不可となりますので、長期履修制度の途中で支援を終えることとなります。
【チャットからの質問】 募集要項は12月に公開との事ですが、申請期日や試験日等の大まかな予定を教えてください。	募集期間は12月中旬から1月中旬、書面審査を経て、3月上旬に筆記試験、書面審査・筆記試験の結果を勘案し、一部の申請者に対し面接試験を実施します。3月中旬に合格発表を行う予定です。
【チャットからの質問】 留学生の選抜スケジュールも同じでしょうか？	留学生も同一のスケジュールとなります。
【チャットからの質問】 ダブルメジャーカとして、異なる分野の指導教員を見つけるとの事ですが、採択後に教員にお願いする事でよろしいですか？もしくは事前に希望する教員に相談しておくのでしょうか？	採択後に指導教員を見つけ、お願いして頂いて構いませんが、本プロジェクト採択後、すぐに活動して頂く事になりますので、具体的に考え見当をつけておいてください。
【チャットからの質問】 ダブルメジャー「相当」ということは、2つの博士号を取得するという事でしょうか？	2つの博士号を取得する必要はありませんが、2つの異なる分野での研究力や実践力(論文発表などの研究成果)を求めます。
【チャットからの質問】 プロジェクト生への質問：本プロジェクトにおいてデメリットに感じたことはありましたか？	研究室でまとめて購入するガス類など、他の研究と切り分けが難しいものは研究費から支出できない事がデメリットに感じました。
【チャットからの質問】 プロジェクト生への質問：2人目の指導教員を選ぶ際、何を重視しましたか？	将来、自分が研究者になるためにどうしたらいいかを重視しました。自分の研究が世界的に過熱した分野であり、ライバルがとても多い事を懸念していたので、まだ連携するに至っていない分野に知見を深めることが有利だと考え、専攻分野と連携できそうな研究状況にある先生を選びました。